

事務事業名	大内資料館管理事業	担当	教育委員会 文化課 文化財係	
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	7	文化芸術の振興と文化財の保護・継承
成果指標	名称	単位	2 年度実績	
	登録文化財大内資料館の適切な保存のための修繕	箇所	3	
	敷地の適正管理のための樹木剪定、除草作業委託	回数	23	
	利用者数	人	102	
事業概要	・昭和4年に大内村役場として建設され、昭和29年3月31町村合併により公民館大内分館となった。公民館大内分館として使用していた建物を昭和63年から大内資料館として歴史資料の展示公開を始め、平成11年に真岡市登録文化財となった。 ・資料館の1階は、埋蔵文化財発掘調査により市内から出土した土器や石器を展示公開しており、2階はボーイスカウト等がスカウト活動や会議室として利用している。			
2 年度実績・成果・課題	・令和2年度実績は、登録文化財である大内資料館の保存継承のため、屋根等の防水修繕工事を実施した。 ・課題としては、建物の要修繕箇所が多く計画的な修繕を要する。 ・活用面では、展示のリニューアル等が必要と思われるが、実施しても施設の改修内容や規模が限定（文化財のため）されるため、来場者の増加は難しいと思われる。 ・ボーイスカウト等の活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少している。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・登録文化財である建物の保存継承のため破損の状況調査や修繕方針・方法の検討を進めていく。 ・抜本的な活用方法の検討をする。 ・令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けるが、感染防止対策の徹底を図り、資料見学希望者等には可能な限り対応していく。			